

仙台市のコロナ感染者数 増加の見通しと予測 東北大学の下水ウイルス調査

7/31 東日本放送



<https://news.yahoo.co.jp/articles/edff9cf9ad8999adea0f7c11413e6d8c174374ed>

仙台市の新型コロナ感染者数を予測する東北大学の調査で、今週は増加する見通しが示されました。

東北大学大学院工学研究科の佐野大輔教授のグループは、下水から検出される新型コロナウイルスの濃度などから仙台市の新規感染者数を予測しています。

調査によりまずと先週のウイルス濃度は前の週よりも増えていて、今週の予測値は1万3292人と高い水準で推移し5月の5類移行後では最も多くなりました。

東北大学大学院工学研究科佐野大輔教授「高いレベルで推移しつつ、少しずつ（濃度が）上がっている状況。第8波の入口レベルというのは超えてきていて、ピークの中で言うところの中腹くらいのレベルには至っているところかなと」

佐野教授は、気温が高い日が続いていることからエアコンを使用するときはこまめに換気をするなどと呼び掛けています。



お盆を前に改めて新型コロナの感染対策を呼び掛け 村井宮城県知事



<https://news.yahoo.co.jp/articles/d0ed4f957b138539cb05131e5a24d39c5bbc1dad>

宮城県では、新型コロナの感染が拡大傾向にあります。村井知事は、お盆などで帰省し高齢者と会う機会が増える時期を前に、改めて感染対策を呼び掛けました。

村井知事「エアコンをつけて暑くても30分に1回、1時間に1回くらいは窓を開けるといった形で、軽い換気を是非していただきたい」

村井知事は、換気のほか医療機関などを訪れる時はマスクを着けることや、検査キットや解熱剤などを準備しておくことを呼び掛けました。

コロナが5類に移行してから、宮城県の1医療機関当たりの感染者数は、7月23日までの1週間で14,95人となり、4週連続で過去最多を更新しています。

村井知事は、病床がひっ迫し患者を受け入れる医療機関の調整に県が乗り出すような場合、注意報や警報を出すことも検討する考えです。